

第42回 国臨協関信支部学会 ～部門分科会 病理検査部門～

「感染対策、検体取り違いや紛失 コンタミなどの医療安全」

アンケート集計結果



国立病院機構 千葉医療センター

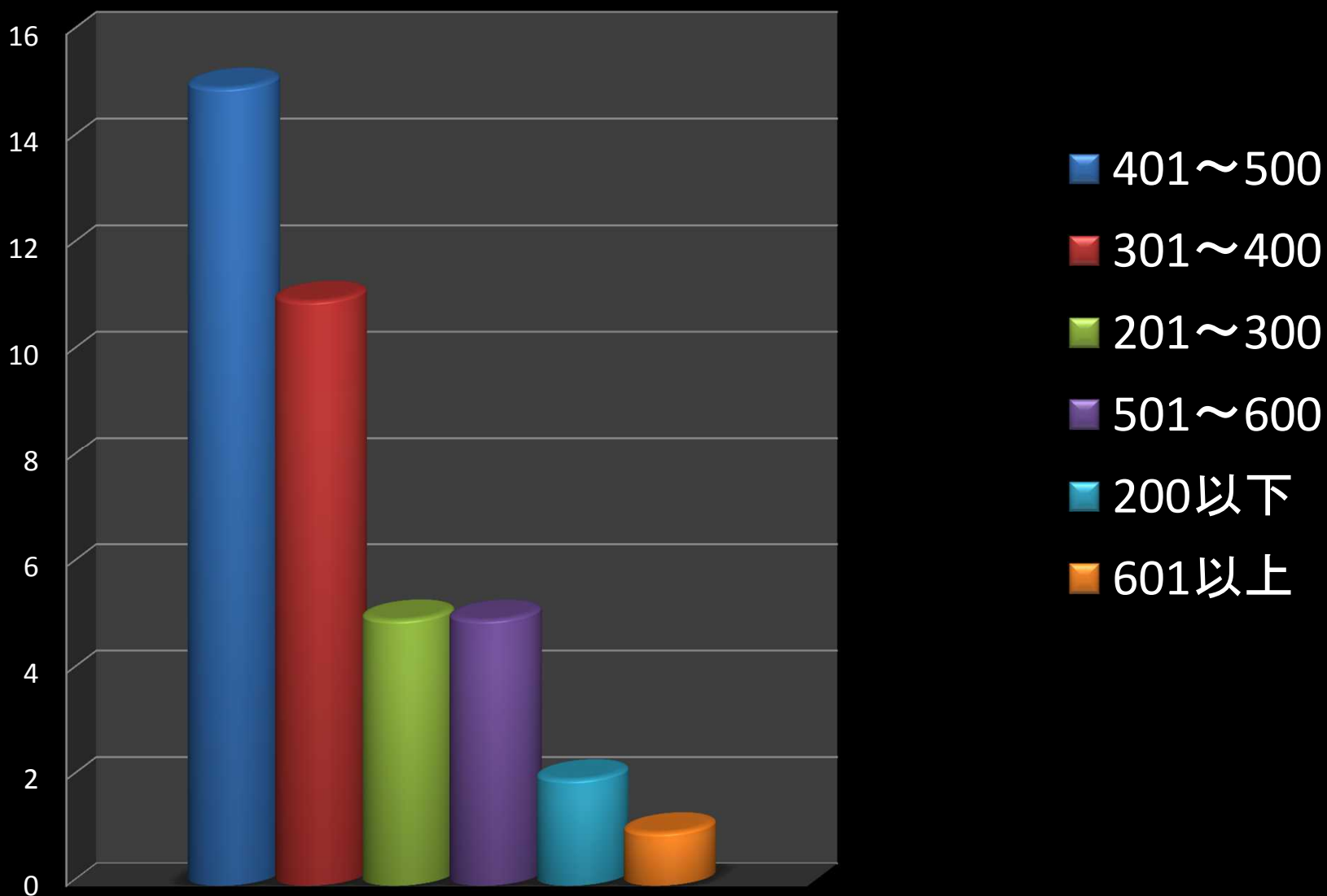
臨床検査科 病理

山本 伸晃

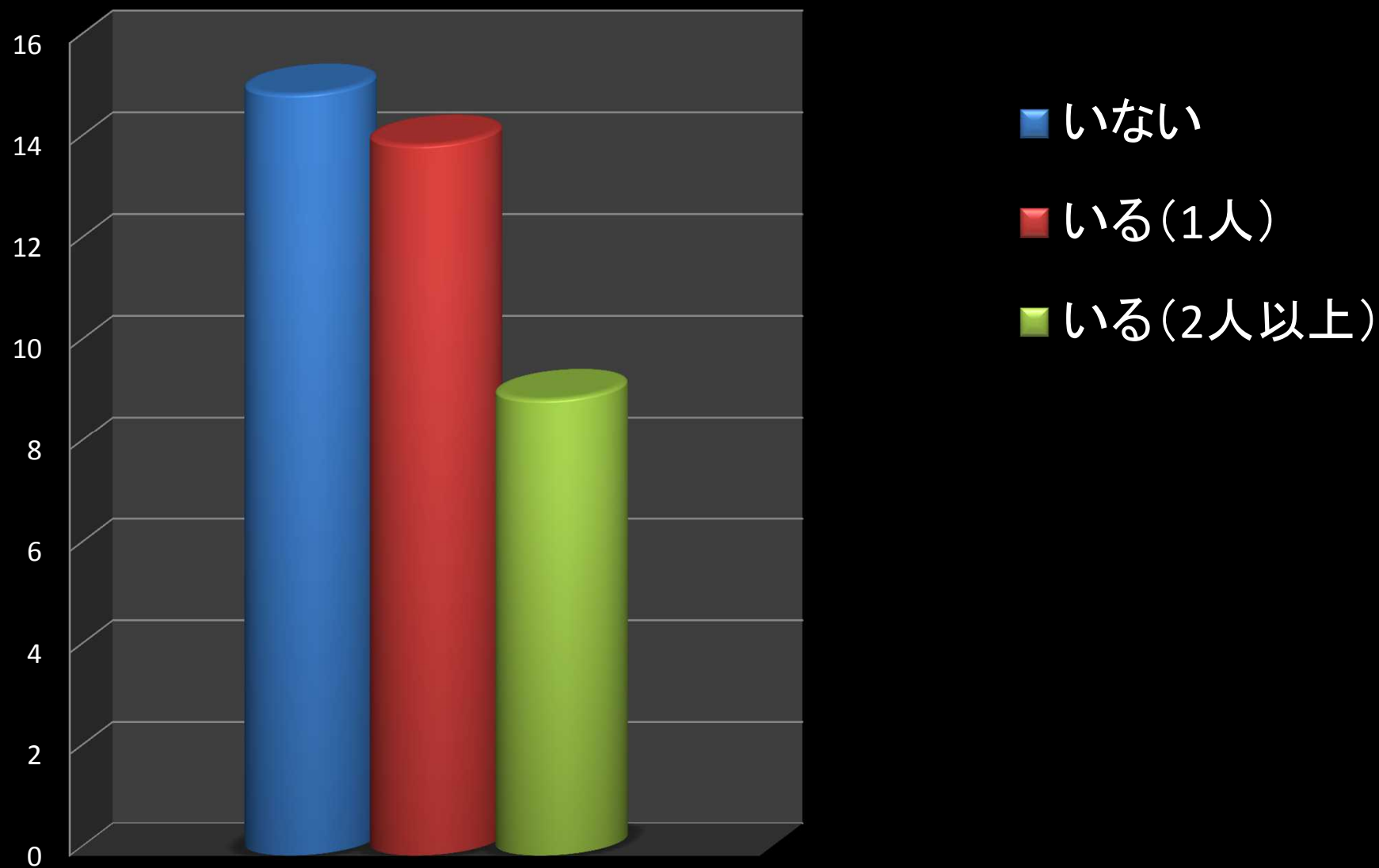
病理分科会アンケート

1. 施設状況について
 - ・病床数
 - ・常勤の病理医がいる
2. 技師状況について
 - ・病理検査室人員数
 - ・病理検査経験年数
3. 日常業務について(主に工夫している点)
 - ・病理検査マニュアルを作成している
 - ・検体受付の際に気を付けていることはなんですか
 - ・切り出しの時に気を付けていることはなんですか
 - ・包埋時に気を付けていることはなんですか
 - ・薄切時に気を付けていることはなんですか
 - ・染色時に気を付けていることはなんですか
 - ・検体ラベルの貼付けで気を付けていることはなんですか
 - ・ダブルチェックはおこなっていますか

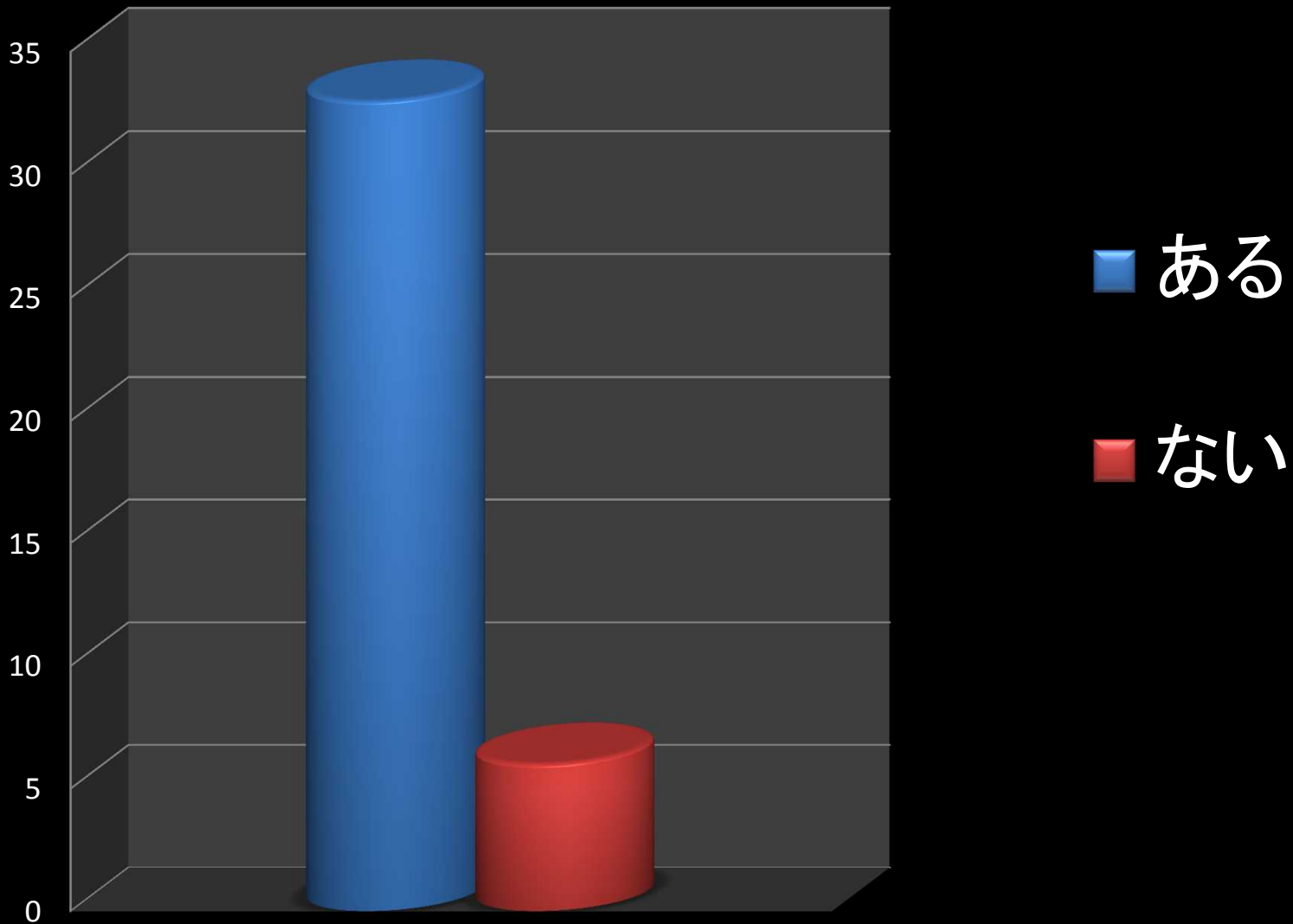
1) 病床数



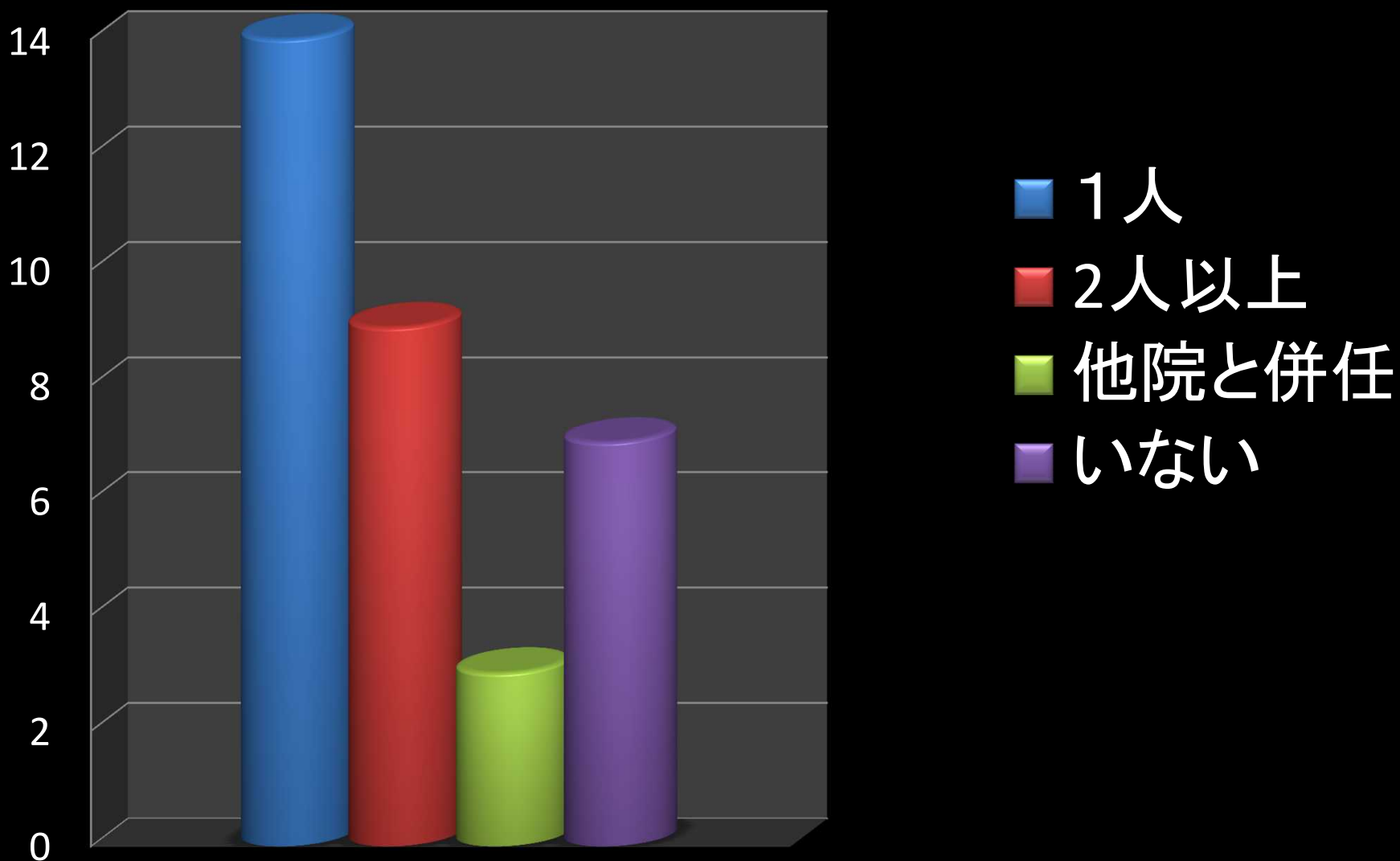
2) 常勤の病理医の有無



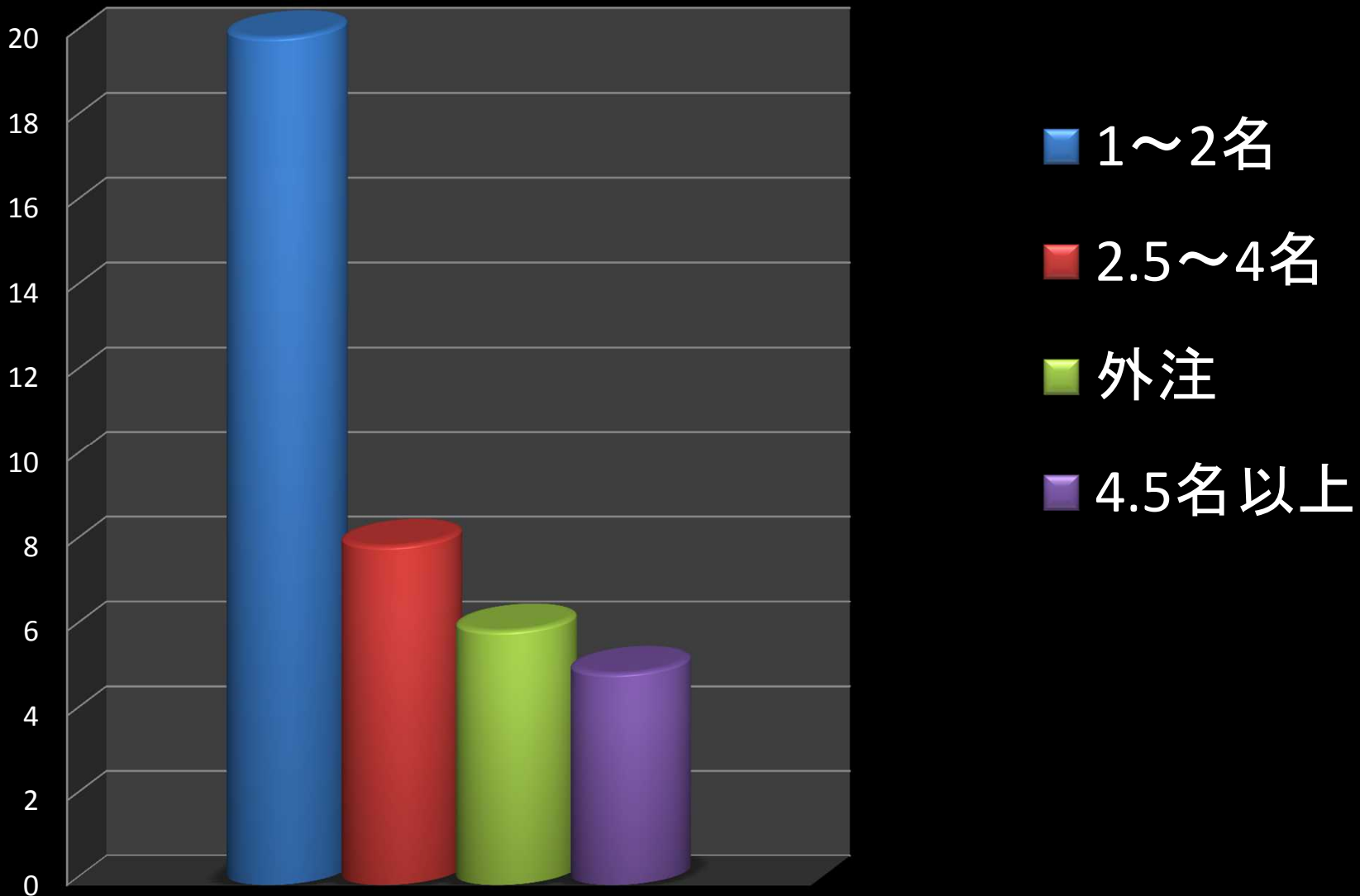
院内に病理検査室がある



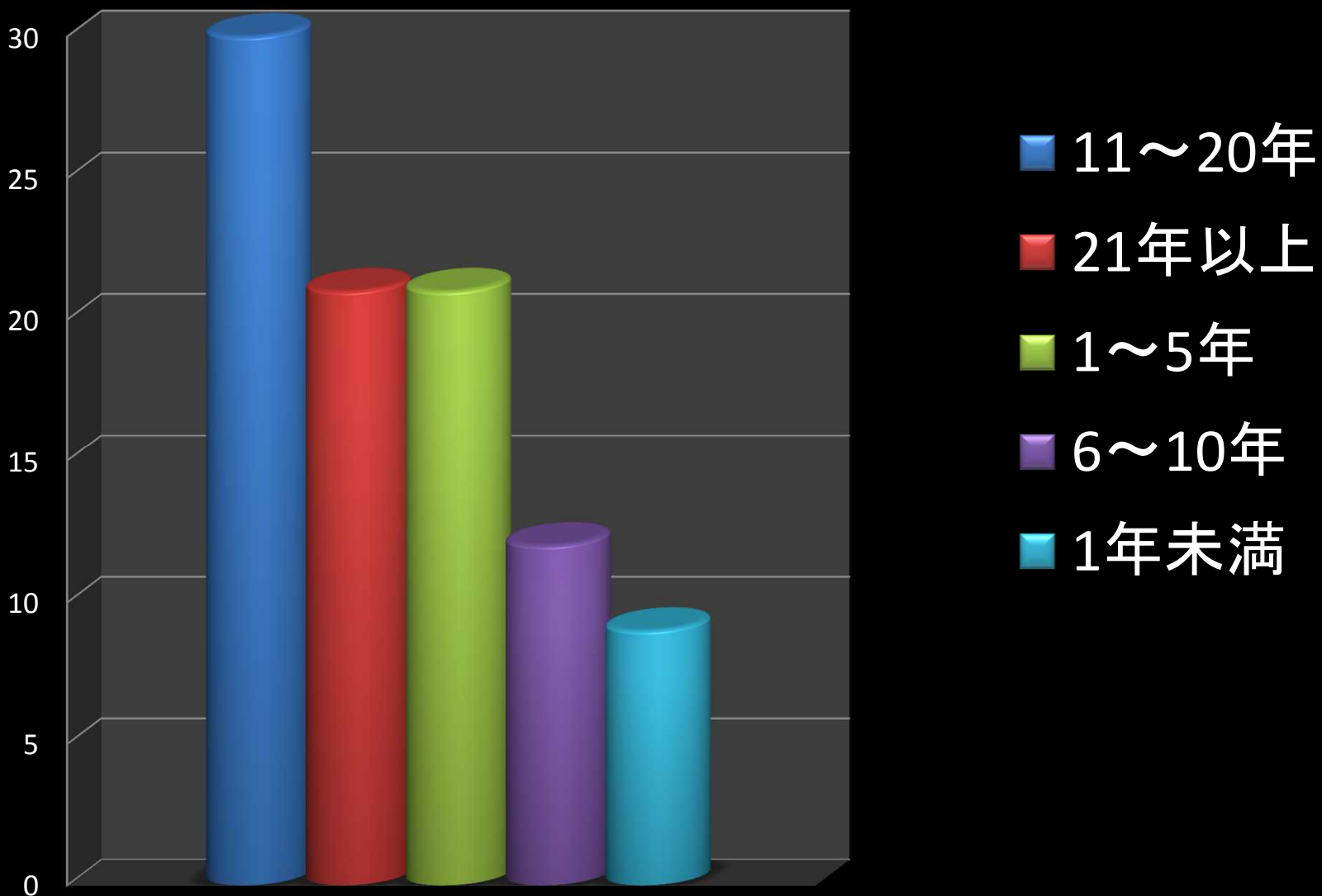
常勤病理医の数



3) 病理検査室人員数



4) 病理検査経験年数

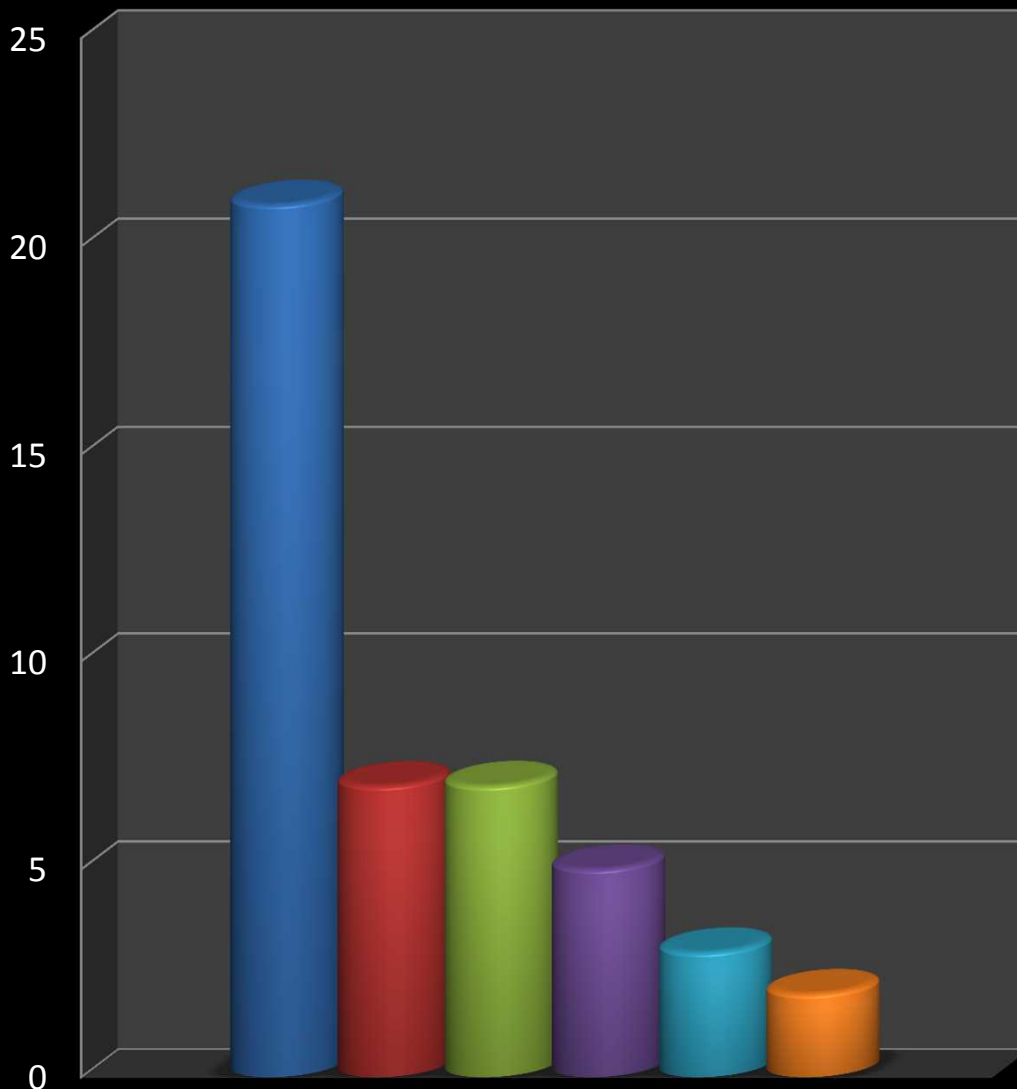


5) 病理検査マニュアルを作成している

■ 作成している ■ 作成していない



6) 検体受付の際に気を付けていることはなんですか。



■ 同姓の時は離れ離れにする

■ 検体受付時に同じ臓器の検体が連続しないようにする

■ 同個数の内視鏡検体が連続しないようにする

■ 依頼書と検体に記載してある患者名、材料の確認

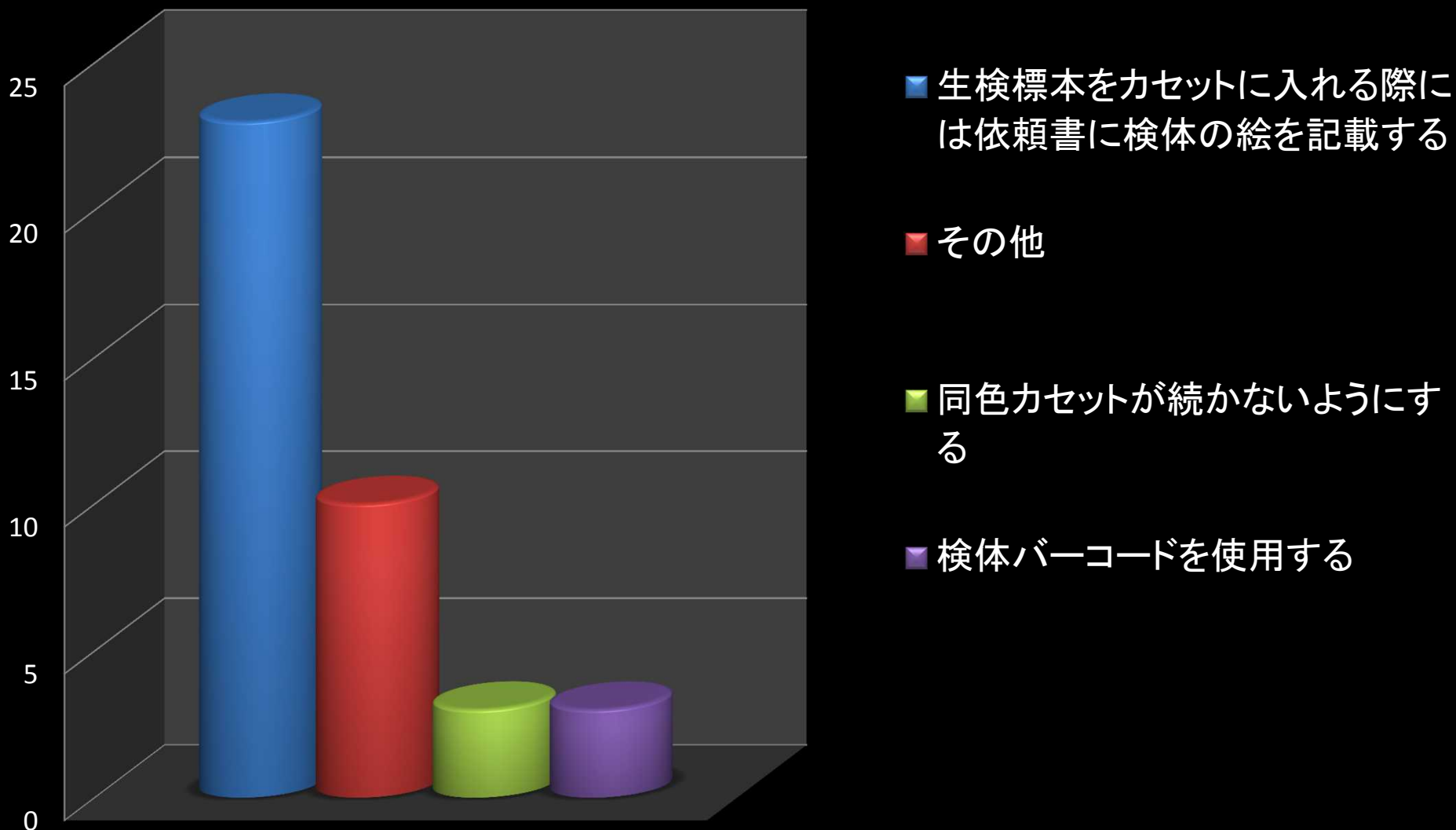
■ その他

■ バーコード認証

【その他】

- ・提出者と受付者の検体確認。
- ・同姓がいれば、間違いなく確認したというチェックを入れる。
- ・細胞診はダブルチェック体制をとっている。

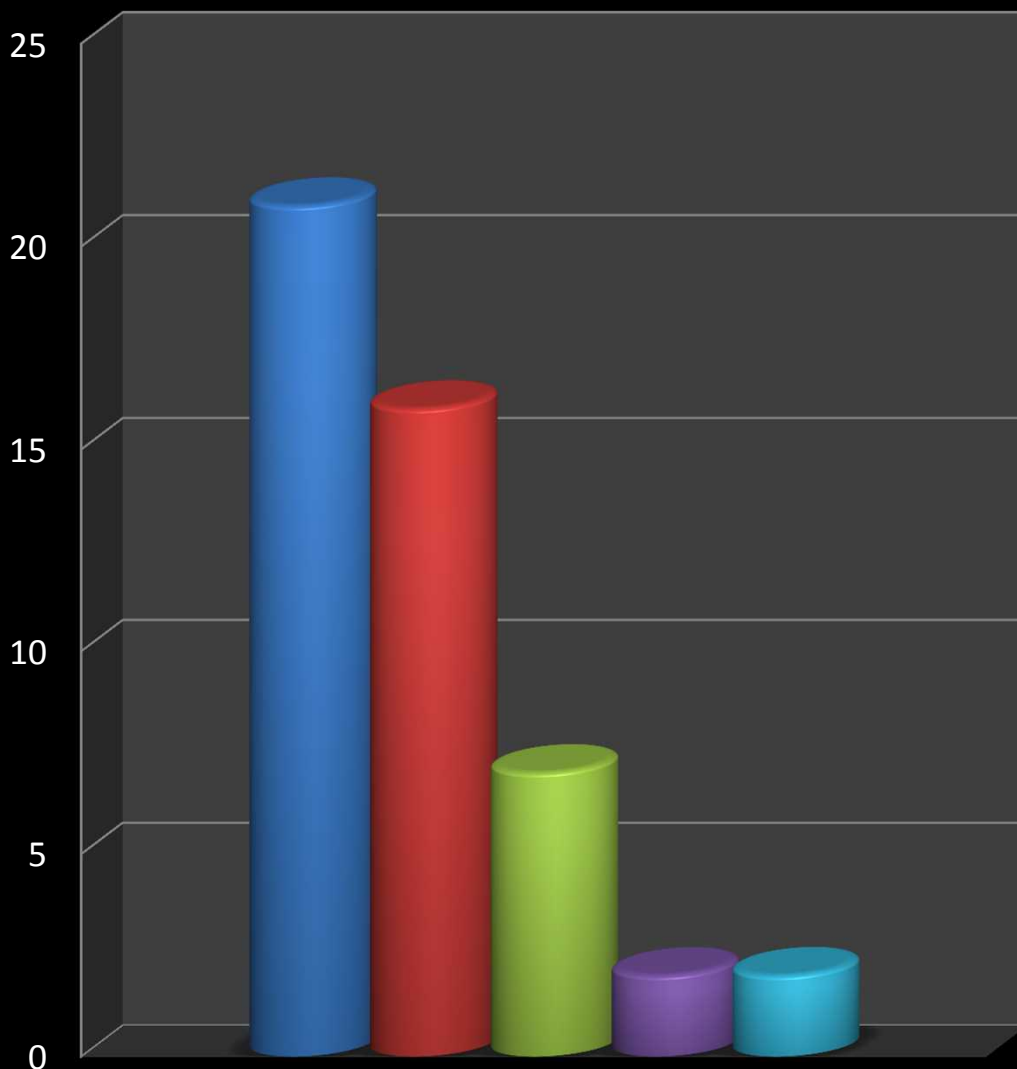
7) 切り出しの時に気を付けていることはなんですか。



【その他】

- ・検体バーコードを読み込ませ、写真撮影やカセット印字を行っている。
- ・声を出して復唱している。
- ・病理番号を記載したブロックと検体に記載された氏名をデジカメで撮影し、切り出し後2名の技師で撮影された画像を確認している。
- ・カセット番号と病理検体番号の一致を確認する。
- ・微小生検検体は、着色し目視しやすくする。
- ・切り出し前には、病理医と検体を確認する。
- ・標本の個数を依頼書に記載する。
- ・生検をカセットに入れる際は二名で確認、個数や大きさを依頼書に記載する。
- ・コンタミ防止のためピンセット先を洗う、個数を記載する、マーキングをするスポンジで挟んで固定する、ダブルチェックをおこなう。
- ・同じ臓器が続かないようにする。

8) 包埋時に気を付けていることはなんですか。



■ 検体番号順に包埋する

■ 検体に触れた器具(ピンセット等)は良く拭いて使用する

■ その他

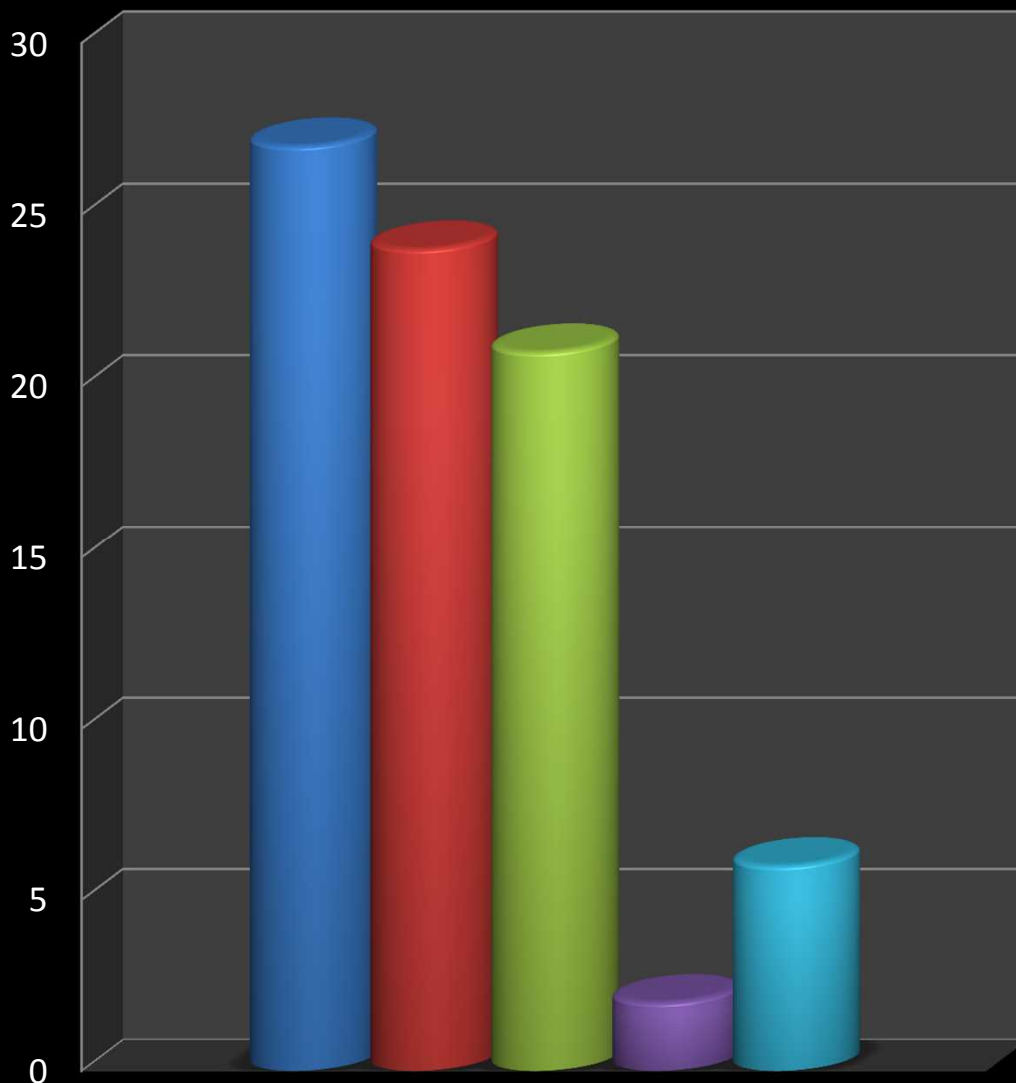
■ ピンセットを1回ごとに交換する

■ 依頼書と照らし合わせての包埋

【その他】

- ・タブレット端末でバーコードを読み込ませ、画像を確認しながら行う。
- ・包埋時バットを使用するため切り出し番号をメモに控えておく。
- ・検体の方向、面を注意する。
- ・コンタミを防ぐために包埋ステージの清掃、パラフィン槽の清掃を行っている。
- ・微量検体は独立のブロックとして包埋する。
- ・細かな検体から包埋する。
- ・カセット内に微量の検体がある場合濾紙を入れている。

9) 薄切時に気を付けていることはなんですか。

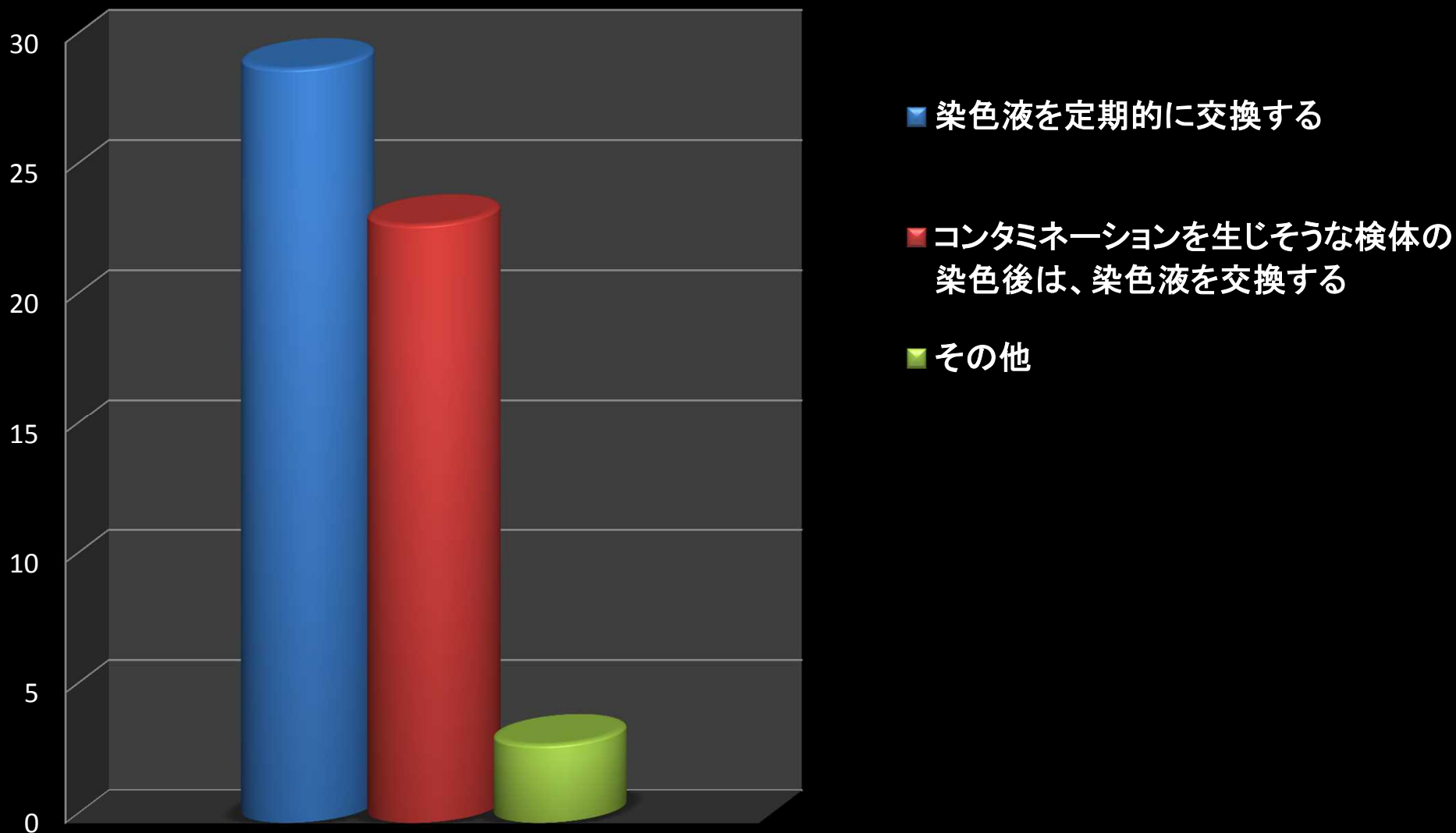


- スライドガラスの番号とカセット番号の照合を充分に行う
- ブロックと標本切片の型を確認する
- ひとつのブロックに対して、ひとつのマスを使う
- バーコード認証
- その他

【その他】

- ・複数の検体を連続して薄切しない。
- ・通し番号を薄切する際は細心の注意を必要とする。
- ・水槽と同じマスのブロック専用ラックを使用し、拾い間違いを防止している。
- ・必要枚数以外の切片を浮かべない。
- ・1検体薄切したら、ガラスに上げる。
- ・ブロックを薄切したら、スライドガラスにブロックに記載されている病理番号を記載する。切片を拾ったら、ブロックを所定の場所に置く。
(1ブロックごとに切片を拾うまでを完結させ、拾い間違い防止を行っている)

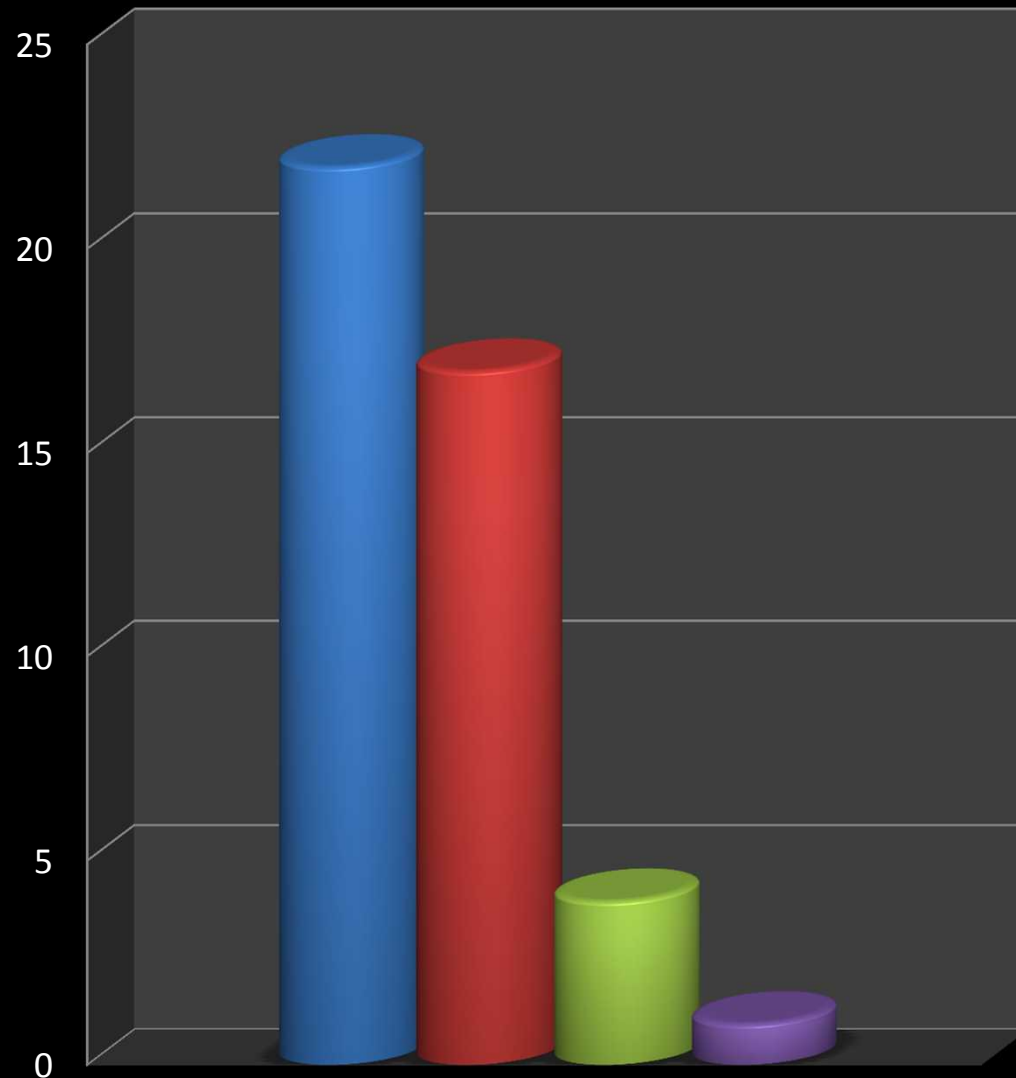
10) 染色時に気を付けていることはなんですか。



【その他】

- ・コンタミが生じそうな検体は、単独で最後に染色している。
- ・組織診、細胞診ともに固定時間を大切にする。
- ・コンタミが生じそうな検体の染色後は濾過して使用している。

11) 検体ラベルの貼付で気を付けていることはなんですか。



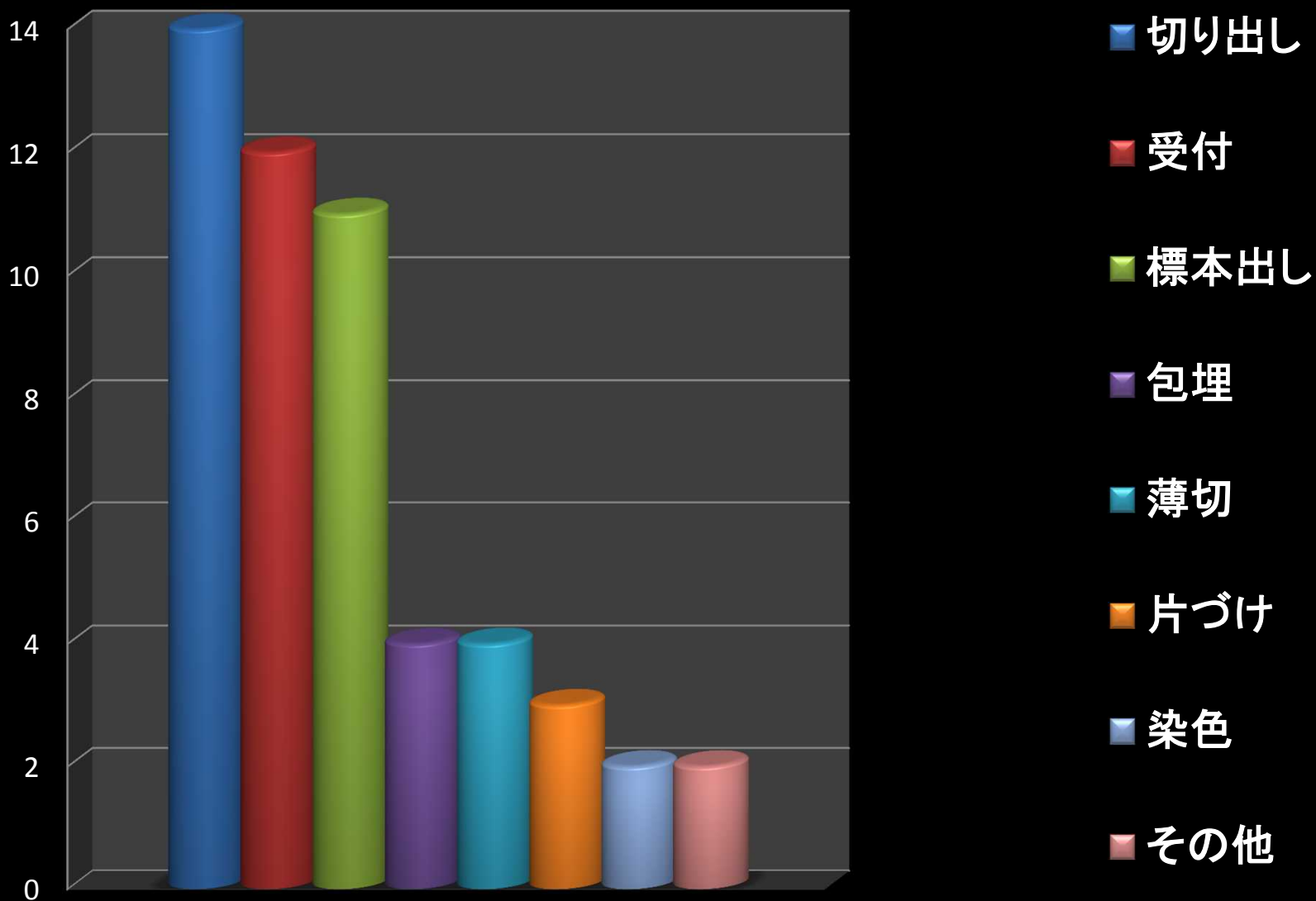
■ プレパレート順と検体番号順を一致させる

■ スライドガラスと依頼書の番号、検体の個数、検体のおおきさ、形を照合してラベルを貼付する

■ フロスト印字のためラベルは貼らない

■ 依頼書と検体を確認しながら行っている

12) ダブルチェックはおこなっていますか。

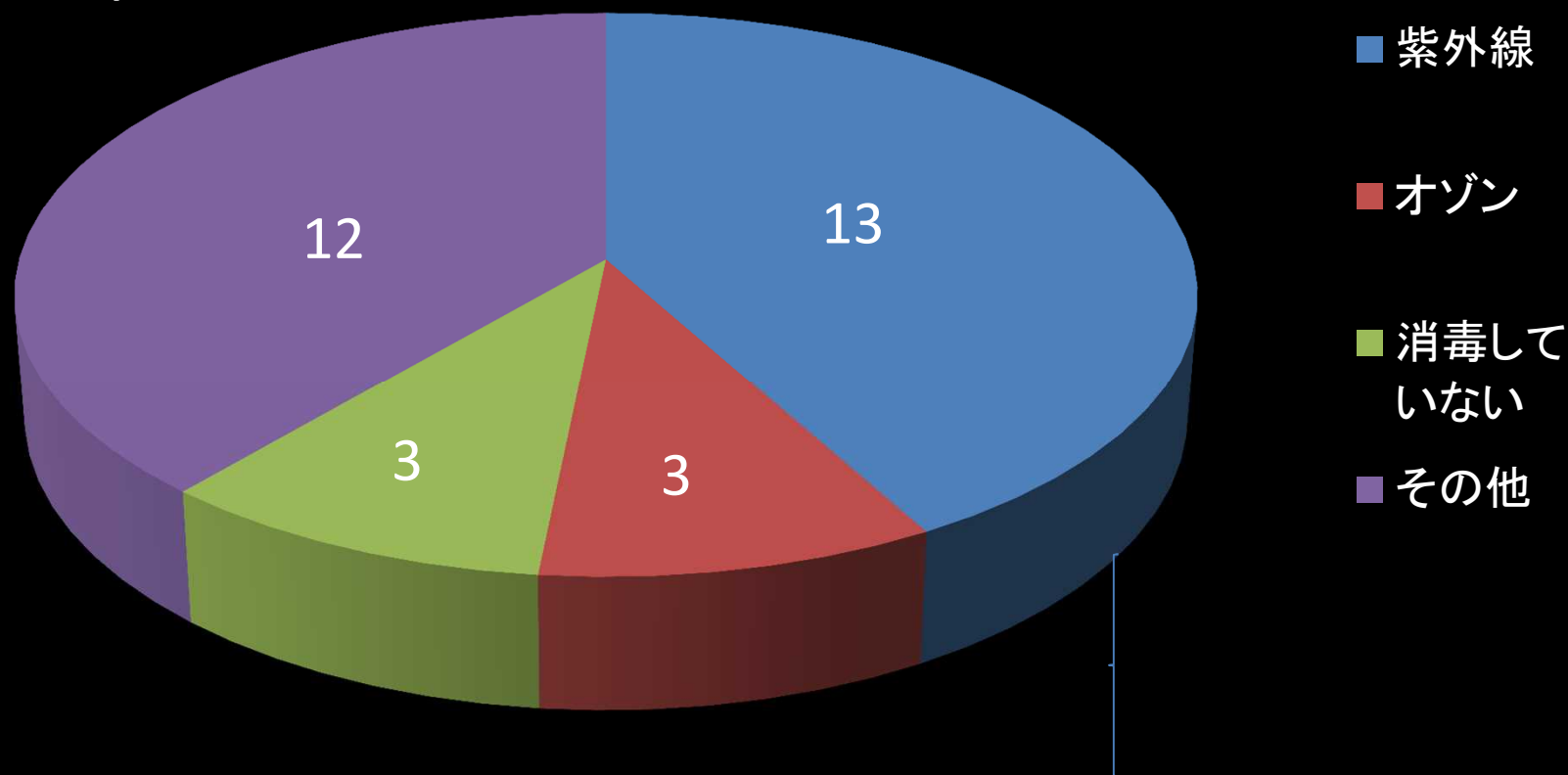


【その他】

- ・それぞれの工程で作業前にチェックを行っている。
- ・結果の送信漏れを確認している。

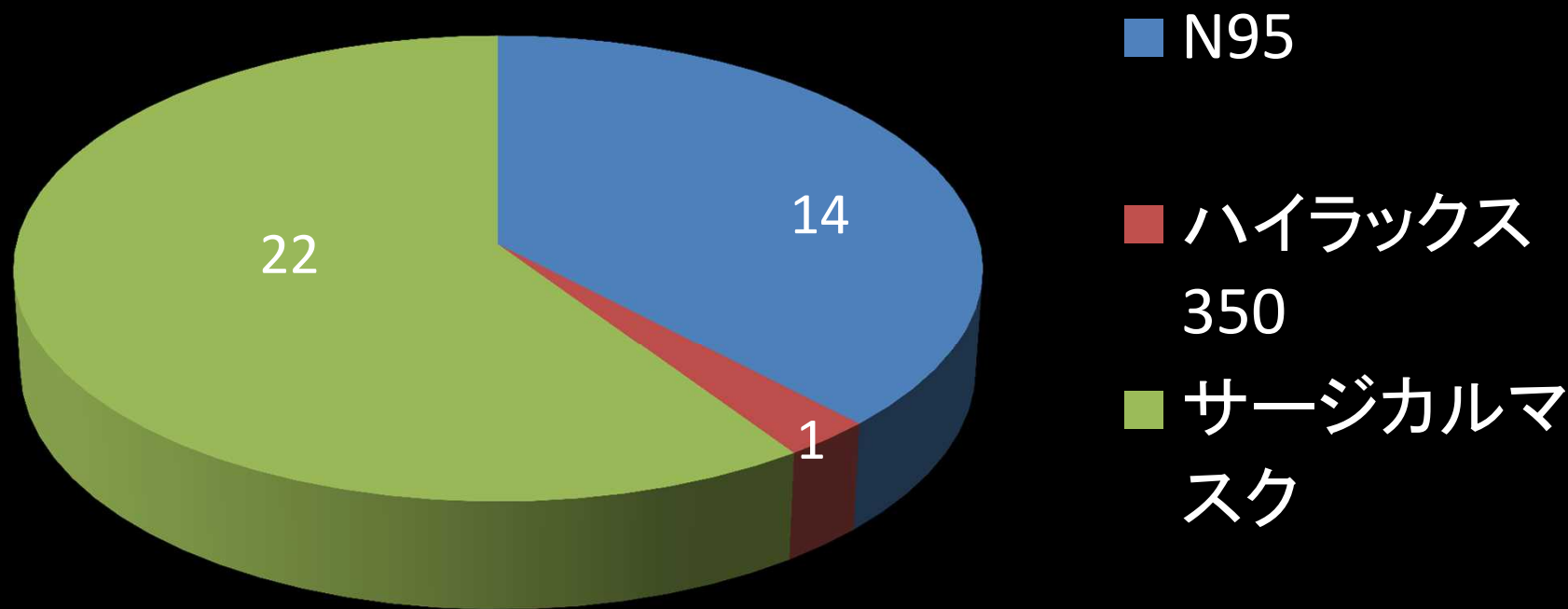
迅速時の感染対策について

13) クリオスタットの消毒は何ですか？



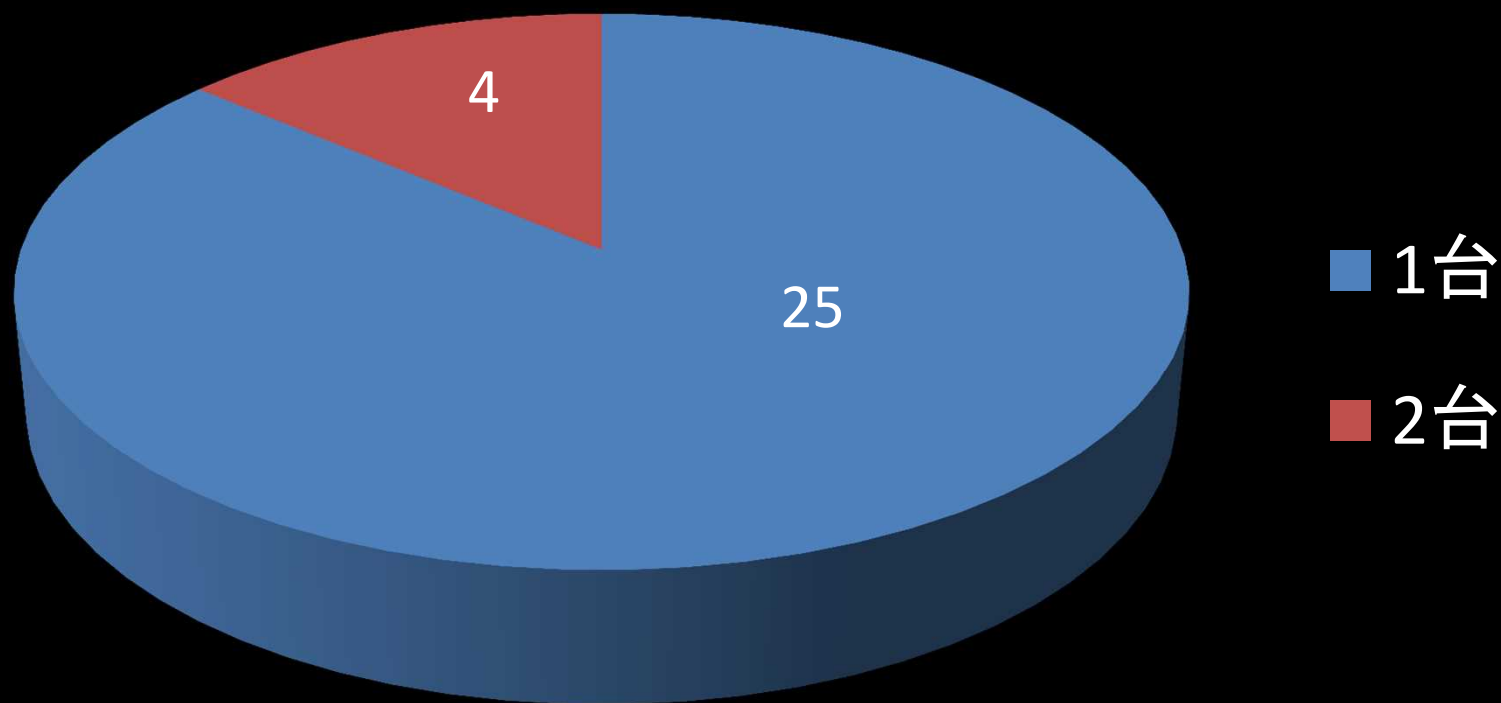
迅速時の感染対策について

14) 迅速時にマスクは何を使用していますか？



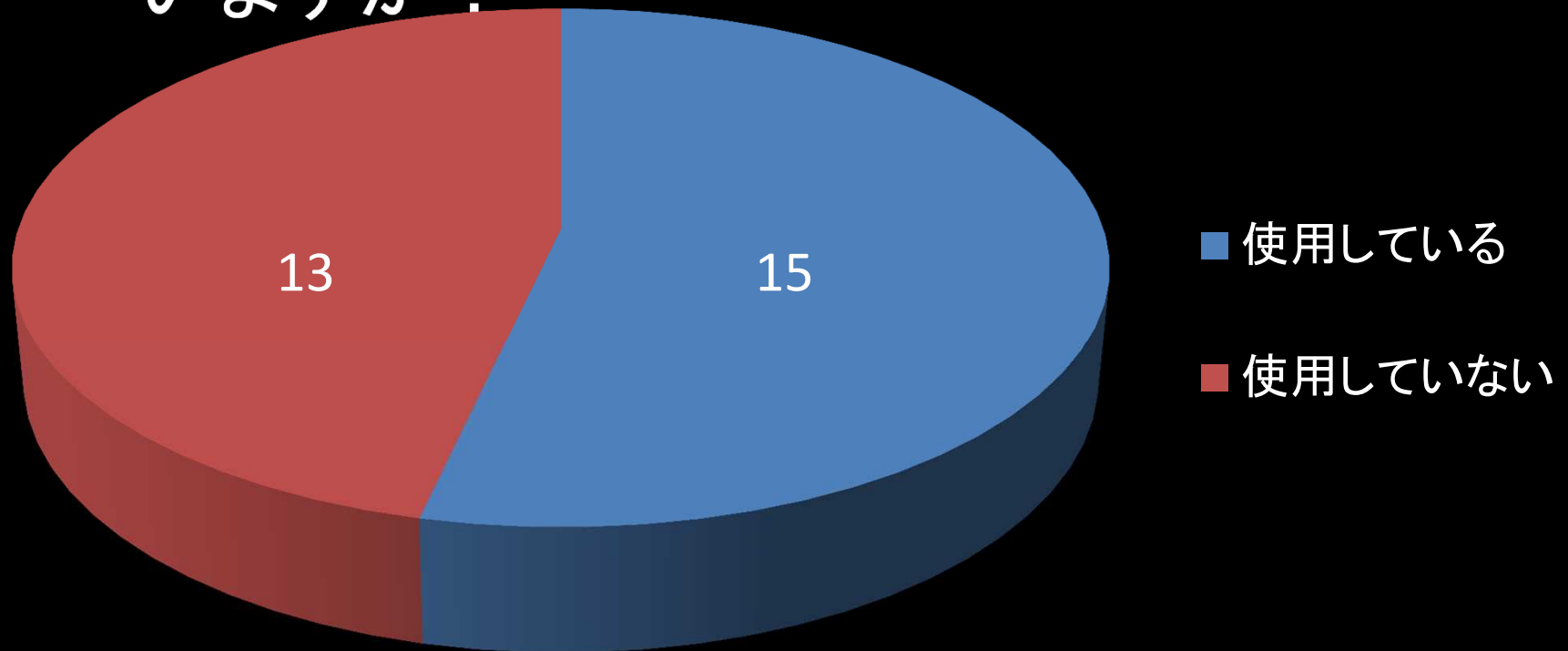
迅速時の感染対策について

15) クリオスタットは何台ありますか？



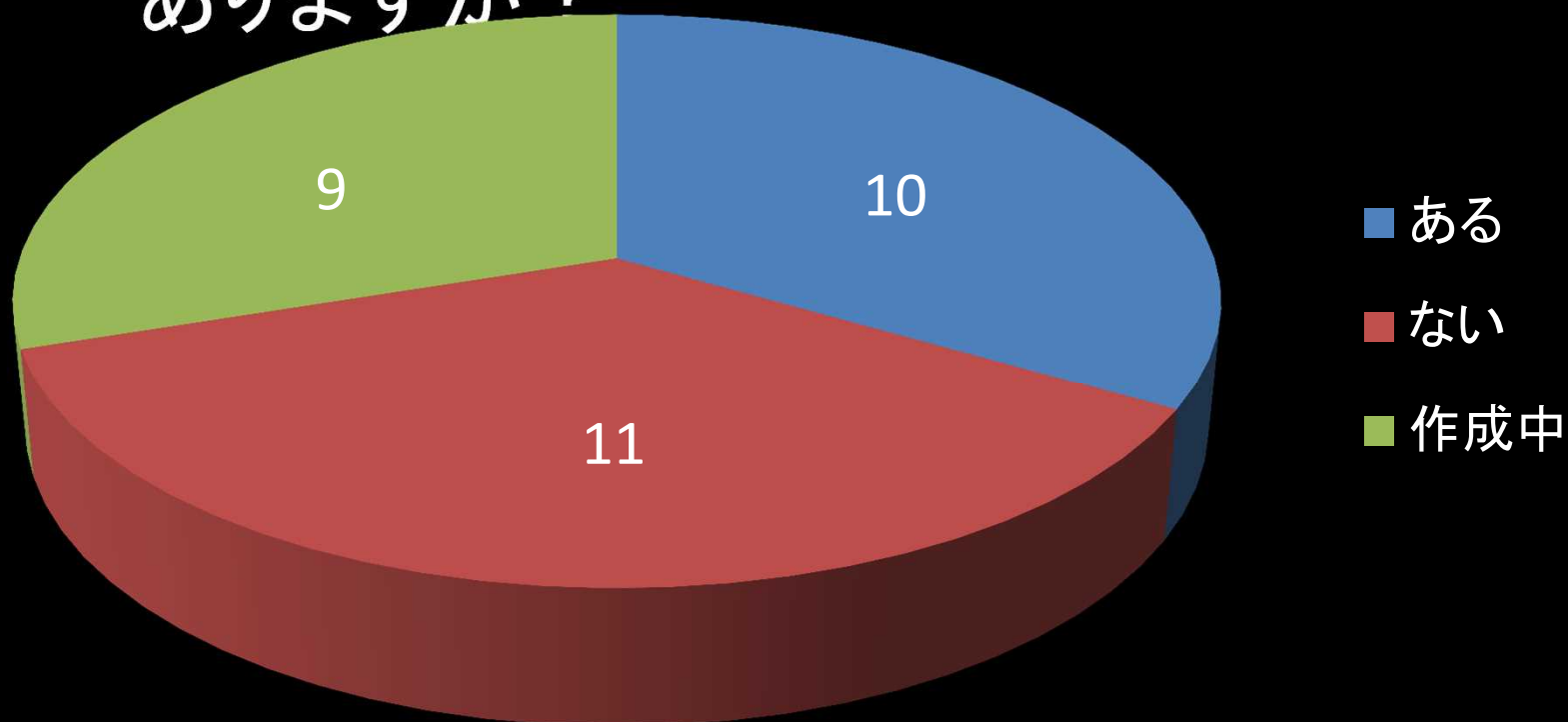
迅速時の感染対策について

16) 迅速時にコールドスプレーは使用していますか？



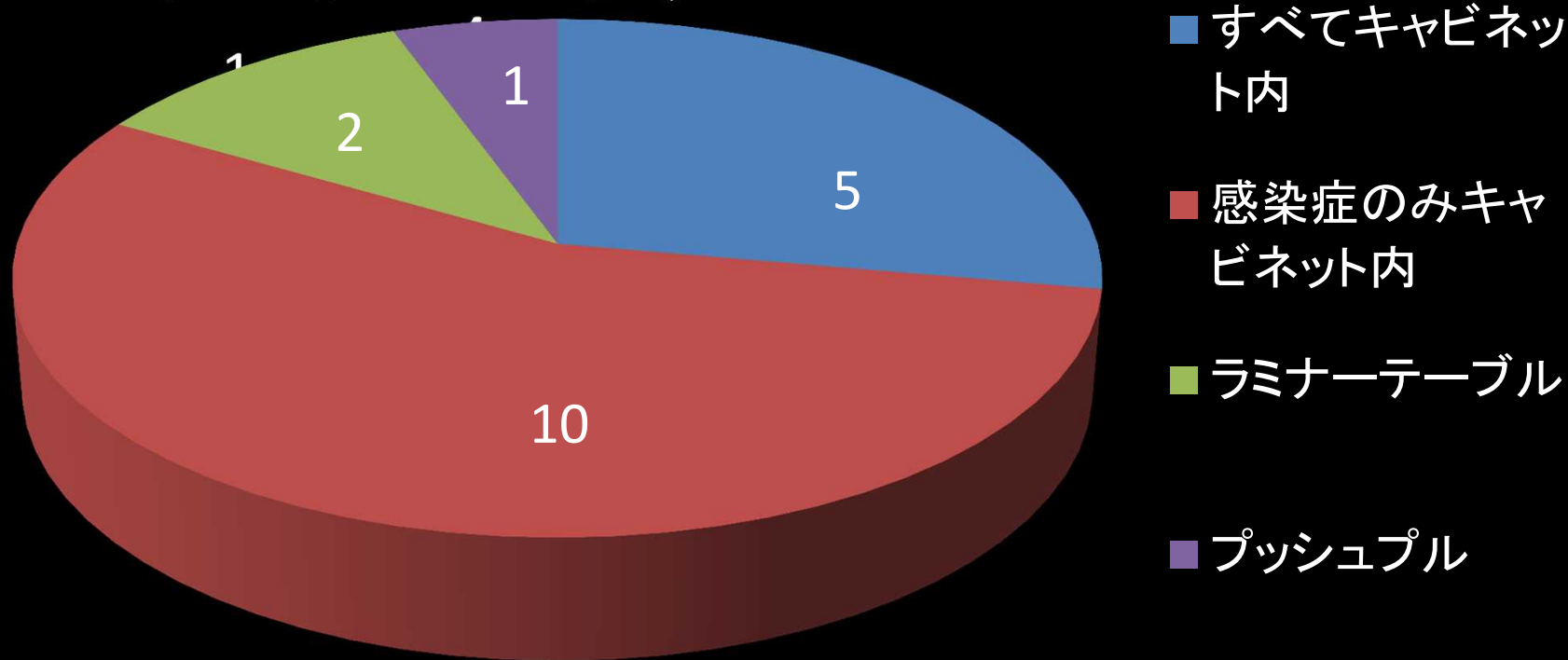
迅速時の感染対策について

17) 結核の対策と感染症マニュアルはありますか？



迅速時の感染対策について

18) 迅速の切り出しはキャビネット内でおこなっていますか？



皆さんご協力いただきありがとうございました